

いきいき人生

2019年
7月号
vol.178

公益社団法人大田区シルバー人材センター

〒144-0055 大田区仲六郷1-6-9-125
TEL.03-3739-6666 FAX.03-3734-0722 E-mail.ota@sjc.ne.jp
<https://www.ota-sjc.or.jp>

会員数 3,134名
男 1,849名
女 1,285名
2019/05/31時点



速報

第70回定時総会が開催されました

令和元年6月26日(水) アプリコ大ホール

総会での会長挨拶を紹介します(総会の報告は次号)



会長 河合 武郎

新元号「令和」時代が始まりました。うるわしく、なごやかな時代を念じ、改めて祝意を表します。本日開催の大田区シルバー人材センター定時総会が第70回目となりますことと併せ、私達のこれからの事業を変革・発展していく転機にしたいと思えます。

当センターの歴史を顧みますと、昭和52年発足後の12年間は草創離陸期で、当時の会員・職員、関係団体等皆様のご苦勞はさぞやとの思いです。続く平成の30年間はほぼ順調な経過をたどりましたが、23年の公益法人化後に会員数が減少する停滞現象に見舞われました。

一現在回復基調に転じています。

会員数の減少は全国シルバー人材センターに共通した傾向でしたが、当センターではいち早く環境の変化に危機感をもって、事態打開に向けた取組みに着手しました。少子高齢社会の進展を見据え、センターの存在意義と目指すセンター像への道筋を探りながら、会員の意識・活動実態を点検し、身近な課題から改善策を具体化しました。

何よりも大田区シルバー人材センターの活動内容を区民に広く知ってもらうことを起点に、広報手段の質・量の強化、広報誌「いきいき人生」の会員参加型紙面への刷新、会員創作によるマスコットキャラクター「シルにゃん」の登録と活用、シルバーサロンの開設等明るく愉快感覚をとり入れながら暫時実行に

移しています。

一連の方針と施策は昨年3月に策定した第2次中期計画によって全会員に共有されています。

本年度の事業計画は既にご案内のとおりです。骨格となる柱は次の4項目です。

- 1 会員の健康・安全の確保。定期健診の奨励、就業現場巡回による適正・安全就業の点検。
- 2 会員の生きがい就業に応えるための発注先開拓の組織的展開。受注情報・会員情報マッチングのシステム化を具体化する。
- 3 会員間、会員と地域の人々との交流促進。地域活動の拠点となるブロックの主体的運営。
- 4 会員・職員の資質向上。地域社会の課題解決に貢献する「人材集団」としての評価を維持向上するためのスキルアップ、フォローアップ等研鑽への積極的参加。

私たちに期待される活動領域は多様に広がっていきます。人生100年が現実となるとうとする令和時代に望まれる大田区シルバー人材センター像はどのような姿でしょうか…。

地域の人々が自立して生きがいのある生活をおくれるために「必要とされる拠り所」への発展ではないでしょうか。新規挑戦分野の開拓も視野に入れ、皆様と手を携え考えながら歩みましょう。道は開かれます。

「月刊シルバー人材センター」2019年4月号に 当センターが4頁にわたり掲載されました

特集“先進センターの会員拡大策を追う”に、会員、理事、職員が一丸となって継続的に取り組んでいる様子が写真7枚により紹介されました。会員主体の取り組みとして、会員による口コミ、駅頭でのチラシ配布、社会奉仕活動などが紹介され、また媒体などを利用したPR活動として、駅ホーム、路線バスなどへの看板掲示、新聞折り込み、区役所本庁舎の電子看板による広告配布などで会員増に効果があったとして紹介されました。



JR蒲田駅ホームの看板

多摩川河川敷清掃活動(グリーンアクションたまがわ =大田区主催=) 5月26日(日)

真夏の暑さの中、多摩川河川敷雑色ポンプ所前から大師橋緑地東端までの約2kmを歩きながら、区内の56団体と一般区民約2,000人がごみ拾いを行いました。当センターからは、会員と職員、計110名が参加しました。

区長挨拶の後、環境対策課長の「出発進行!」の掛け声に合わせ、一斉にごみ拾いが始まりました。

会員は、「社会に奉仕する喜び」の旗のもと、自然環境

保護の大切さを再認識しつつ相互交流を深めながら、ゴールを目指しました。

ゴール地点では、ペットボトルキャップ回収所で、会員がトートバッグ配布のお手伝いをしました。

参加者は「参加する度にゴミの量が減り、環境が整ってきていることを実感します。とてもやり甲斐があり、次回も参加したいです。」と話してくれました。



ペットボトルキャップ回収所で
トートバッグを配布

蒲田警察署交通安全パレード 5月5日(日)

蒲田警察署が主催する春の恒例イベントです。当センターからはボランティア会員43名が参加しました。五月晴れのもとアロマスクエアからJR蒲田駅前を通って京急蒲田駅までをパレードしました。参加団体としては当センターが最大のグループでした。

パレードのあと京急蒲田駅東口で開かれた交通安全キャンペーンにも参加しました。今年はこどもの日にあわせて、ピカチュウなどが登場するファミリー向けのプログラムが多くにぎやかでした。



蒲田西ブロック懇談会 4月25日(木)

ふれあい蓮沼において、シルバーサロン終了後、午後1時半から開催され、24名の会員が参加しました。

第一部は地域包括支援センター西蒲田から講師を招き「認知症サポーター養成講座(認知症を学び地域で支えよう)」を開催しました。認知症予防には、早期発見、早期受診・診断、早期治療が大事です。また、予防として散歩、人との会話、出掛けること、日記をつけること、恋をする気持ちを持つこと、誰かを支援することなどが有効とのことでした。

第二部は平成30年度ブロック活動の報告と、次年度の活動計画を説明し、5月以降のボランティア活動の案内をしました。



就業現場紹介(15) 薬剤投入業務

区が管理している道路の雨水マスに薬剤を投入する業務で、5月中旬から8月下旬まで4回の作業が行われます。

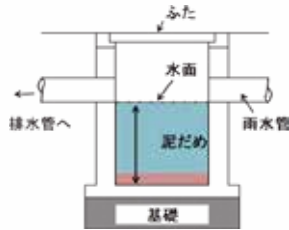
雨水マスとは、雨樋などから流れてきた雨水を排水管に接続するコンクリートなどでできた設備で、雨水に含まれる砂や、枯葉などを沈殿させ、一時的に貯留して流量を調節する機能もあります。

水が貯まる場所ではボウフラが発生しやすく、蚊の発生源になります。

雨水マスは、区内に約6万5千箇所あり、投入する薬剤はボウフラを死滅させるのではなく、羽化を抑制する効果があります。

業務の流れは以下の通りです。

1. 全体説明会(4月)
 2. 薬剤を担当者別に袋詰め作業(本部)
 3. 薬剤配布(区内4箇所)
 4. 薬剤投入
(チョークでチェック印)
 5. 投入後の報告
(区内4箇所)
- 上記2~5を4回実施



説明会の様子
(約110名が参加)



薬剤配布

業務に参加した会員に動機を尋ねたところ、①身体に良いから、②暇だから、③収入になる、④身体を動かしたいなどの回答がありました。

通行人に「何をしているのですか」と問いかげられ、業務内容を説明すると、「ご苦労様です」、「気を付けてください」など声を掛けられ、やりがいを感じると語ってくれた会員もいます。



投入作業



投入後にチェックされた雨水マス

安全コーナー 傷害事故から身を守ろう

今や人生100年時代です。会員の平均年齢は74歳を超えました。社会参加を続けるために、傷害事故から身を守りましょう。

傷害事故の防止は、自分自身が身の安全確保を行うことから始まります。7月はシルバー人材センターの夏季安全強化月間です。この期間中に「安全就業基準」や「作業別安全就業基準」を読み返し、自身が従事している仕事に関する注意事項を認識し、新たな気持ちで就業に当たること、傷害事故から身を守りましょう。

安全就業基準の第3条には「安全心得10ヶ条」が記載されています。しっかり覚えましょう。

作業時は常に危機管理意識を持ち、指差呼称により安全確保をした上で、作業に従事しましょう。傷害事故は自分からだけでなく、向こうからもやって来ます。毎日のようにマスコミが発するニュースに見るように、歩道を歩いていてもバス待ち時も災害に遭っています。

傷害事故から身を守るため、危険予知を最大限に

しておきましょう。

今日からKY(危険予知)の実施で、ご安全に!

安全心得10ヶ条(要約)

1. 安全第一に心掛ける
2. 器具の作業前点検を行う
3. 作業に合った服装・履物を着用する
4. 作業前の準備運動を実施する
5. 自身の身体機能を認識する
6. 作業場の整理・整頓をする
7. 合図と連絡を正確に実施する
8. 就業途上の交通事故を防止する
9. 健康状態に気をつけ就業する
10. 作業前日の睡眠時間を確保する



適正・安全委員会

大田区からのお知らせ

～古布の拠点回収を始めました～

タンスにしまえる状態が回収判断基準です。
透明または半透明の袋に入れて出して下さい。

● 回収できるもの

- 洗ってあるもの(クリーニングは不要です。)
- 衣類全般 ■ 肌着・下着類 ■ 皮革衣料品
- フェイスタオル ■ バスタオルなど
- ※ベルト等の付属品はそのままお出し下さい

● 回収できないもの

- 濡れているもの・カビが生えているもの
- 泥や油などで汚れているもの
- ペット用に使った毛布 ■ タオルなど
- 粗大形状のもの(布団類、敷物類など)
- ※事業者から排出されるものは一切回収できません

● 回収場所、回収日

庁舎名	日程(午前9時～正午)
大森地域庁舎	7/19、9/12、11/14、1/16、3/12
調布地域庁舎	7/26、9/10、11/12、1/24、3/26
羽田特別出張所	8/29、10/31、12/26、2/27
蒲田地域庁舎	8/23、10/24、12/19、2/20

- 問合せ先：清掃事業課 TEL. 03-5744-1628

シルバー派遣事業説明会と登録会の開催

シルバー派遣事業の説明会と会員登録会を下表のとおり行います。15名までの先着順です。

会場：本部会議室 時間：9時30分～12時

開催日	申込開始	申込締切
7月12日(金)	7月 1日(月)	7月 5日(金)
8月 9日(金)	7月29日(月)	8月 2日(金)
9月13日(金)	9月 2日(月)	9月 6日(金)

※申込期間中に電話又はFAX(様式不問)で本部派遣担当へお申込ください。後日案内文を発送します。

清掃研修のご案内

新たに清掃業務をやってみたい方、すでに清掃業務に携わっている方、どなたでも参加できます。定員10名です。ふるってご参加下さい!

日 時	7月23日(火) 14時～15時30分
会 場	調布分室(田園調布本町7-1)
服 装	動きやすい服装
持 ち 物	「清掃の基本」(黄色の冊子)

参加申込みは TEL. 03-3739-6666 事業部まで

就業相談のお知らせ

次の日程で就業相談(就業上のトラブルや悩みの相談)を予定しています。

日 時	7月19日(金) 13時30分
場 所	センター本部 作業室
申込方法	会員番号・氏名・住所・電話番号を任意の紙にご記入の上、本部に郵送又はご持参ください。
問合せ先	事務局 鈴木 03-3739-6666

ボランティアの募集

1 こらぼ大森夏まつり

開催日時	令和元年8月18日(日) 10時～16時まで		
開催場所	こらぼ大森及びその周辺		
内 容	とんび凧、ミニ凧、紙とんぼ教室及び来場者への駐輪場の案内、および駐輪場内の駐輪指導・案内、会場周辺での案内、違法駐輪の注意 など		
集合場所	こらぼ大森(大森西2-16-2)内 高齢作業所		
集合時間	9時30分	募集人員	30名
応募期限	8月2日(金)		

※自転車利用の方は、大森西特別出張所に置いてください。
※昼食(カレー)と飲み物は主催者から提供されます。

2 池上まつり

開催日時	令和元年8月25日(日) 10時～16時30分		
開催場所	池上本門寺入口右の池上小学校のピロティー(体育館の1階部分)		
内 容	①紙とんぼ・凧作り ②ヨーヨーつり ③自転車整理(校庭) 後片付け：15時30分～16時30分(全員)		
集合場所	開催場所に同じ		
集合時間	9時	募集人員	30名
応募期限	8月9日(金)		

※飲み物は各自用意してください。
昼食は100円でレトルトのカレーが出ます。

【1,2共通事項】

それぞれの期限までに、事務局宛て電話(3739)6666、又は直接来所の上お申込みください。定員内の申込者は、参加確定となります。ご案内は、発送しませんので、当日集合場所へ参集ください。配置については、当日お知らせいたします。

交通費実費相当額については、9月に配分金口座に振込となります。

暑い時期なので無理をせず、熱中症に十分気を付けてください。気分が悪くなる前に、早めに休憩を取り、周りの会員とも互いに注意し合ってください。